



ボランティア通信 2019. 6 Vol. 230

なかま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会
(交野市ボランティアセンター内)

V連絡会 E-mail vltr94@eto.eonet.ne.jp
Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com

ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンター
にお問い合わせください
(Tel 8 9 4 - 3 7 3 7)
(Fax 8 9 1 - 3 3 4 0)

大阪府市町村ボランティア連絡会役員

役 職	氏 名	ブロック	所属市町村
会 長	中谷 恵子	北 摂	吹田市
副会長	横井 勝	北 摂	高槻市
〃	川下 武士	河 北	交野市
〃	尾畠 洋子	河 南	太子町
〃	菊池 正代	泉 州	泉大津市
会 計	長田 宮子	河 北	門真市
監 査	向井 満子	河 南	河内長野市
〃	森 芳子	泉 州	泉南市

※任期は2019. 4～2021. 4 (2年間)



講師の新崎国広氏
(大阪教育大学教授)

ボランティア連絡会とボラン
ティアセンターとの協働という
視点から、地域共生社会の実現
に向けたボランティア連絡会の
意義を再確認することの重要性
を話されました。

ボランティアは十人十色、みんな違っていい

現代社会は公的サービスだけで
は支えられない現実がある中で、
柔軟な発想とボランティアな想い
をもつこと、そしてボランティア
活動は「十人十色、みんな違って
いい」をいま一度思い起こして欲
しい。でも心は一つ社会的孤立をな
くし、共に生きる社会を目指すこ
と、決してひとりぼっちにしない
心を育み、日頃から顔の見える関
係づくりを通して地域との共生を
考えようと話されました。

予算が提案され、それぞれの議案
が賛成多数で承認されました。



令和元年度の総会に31市町村91人が出席

各議案が承認される

総会では事業報告・決算報告に
続いて役員改選が行なわれまし
た。役員改選については2月に開
催された代表者会議において、新
5月22日、大阪社会福祉指導センターで市町村ボランティア連
絡会総会並びに講演会が開催されました。総会では新年度の役員
改選が行なわれ、中谷会長の再任の他は新しいメンバー7人が選
任されました。引続き大阪教育大学教授の新崎国広氏による「ボ
ランティア連絡会とボランティアセンターとの協働」と題した講
演会のあと、柏原市(社会福祉協議会との協働について)・高石市
(おしゃべりカフェ)の実践報告が行なわれました。

市町村ボランティア連絡会総会&講演会

ボランティア インタビュー74 水野シゲ/さん(糸ぐるま)



今回は最近入会された方に
登場していただきました。

ボランティアを始められ
たきっかけは？

踊りを習っていたのですが、
先生がやめられて、ボーとして
いるのが嫌いで、何かしたいと
思っていた時に「近所の方か
ら「糸ぐるま」の活動を教えて
もらい入会しました。歳が歳な
ので大したことはできないの
ですが、できる範囲でやれば良
いということなので、はじめま
した。

以前、縫製などのお仕事を
されていたのですか？

いいえ、私の時代は子供の着
るものなどは手作りしていま
したから大体の事はできます。

失礼ですがお歳はいくつで
すか。

はい、91才です
えー、とてもそんなお歳には
見えませんね。

お元気の秘訣は？

いつも前向きに考えて生活し
ます。朝、30分は、体操をし
ます。家族は息子夫婦と3人で、
何も仕事がないので、お風呂の
掃除だけはさせてもらっていま
す。頭の体操に、道を歩いてい
るときに出会う車のナンバーを
たし算したり、掛算したり・・・。
カラオケにも行きます。

「糸ぐるま」に入られてど
うですか？

みんな優しく親切で、いっ
も家族や周りの人に感謝の気持
ちでいっぱいです。だからとて
も楽しいです。

とおっしゃる水野さんのお話
を伺って自分の生活に反省する
こといっぱいでした。

リーダー会議(5月28日)

☆会長挨拶
・大阪府市町村ボランティア連絡会
総会及び講演会報告(1頁参照)
☆連絡会より
・ふれあい広場実行委員会報告
・出店ブースの検討及び担当グル
ープの選定について、出店ブースは
本部バザー、植木市、古本市とする。
館内は高齢者疑似体験コーナーを
昨年に続き開設する
・春のVセンター大掃除報告(7グル
ープ33名の参加で実施)
・リーダー親睦会について
6月25日(火)「おりひめ給食セン
ター」を見学(サブリーダーの出席
も可)
・令和2年度「共同募金助成金」申請
について(希望調査)
☆各グループから (内容省略)
☆Vセンターから
・社協負担の印刷代について
・助成金情報について
・高齢者施設連絡会について
☆社会福祉協議会からの案内
・認知症サポーター養成講座
6月20日(ゆうゆうセンター)
・交野のまちづくり講座
6月28日(ゆうゆうセンター)

後編

記録集

ゴールデンウィ
ークが終わってす
ぐに、とても悲し
い事故が起きましたね。散歩の
途中、信号待ちをしていた園児
たちの列に突然車が・・・。
「ママ、ママ」と叫んでいる園
児たちもいたそうです。

また、一週間後に園児たちが
遊ぶ公園に車が突入しました。
テレビを見ていて腹が立つ。「あ
ゝまた」この頃自動車事故のニ
ュースが何と多いこと。

朝のあいさつ運動で立ってい
るときも、そばを時折り自動車
や単車がスピードを出して通り
過ぎる。「危ないよ!」「スピー
ド出し過ぎ!」と心の中で叫
ぶ。気の緩みが一生の後悔にな
らないように願うばかりです。

数ヶ月前、単車の免許更新の
通知書が届いた。今回は実地試
験があるので早く届いた。免許
を取得して30年以上乗っていな
いので、もう返納することにし
ます。(ひまわり)



「アンゼルセン人魚姫の像」

桜花咲きほころぶ四月上旬、北欧四カ国を旅しました。コペンハーゲン、ノルウェー、デンマーク、スウェーデン、フィンランド、アイスランドの美しい入江・フィヨルドや山岳鉄道での息をのむ壮大な景観等々、その国ならではの自然や文化を楽しんできました。

いずれの国も充実した福祉国家で消費税は25%、医療費や教育費用はすべて無償、女性の社会進出は女性内閣、女性議員は41%とのガイド説明があり、経済的に自立しているが故のデメリットとして離婚率が高いと

か、また両親の家を一週間ずつ往き来するという子どもの豊かさとは・・を考えたせられました。

男女平等の最たるものがトイレ事情かな？ 昼食レストランや他の数カ所「ホンマや！」と実体験を。スウェーデン・ストックホルムで入館した美術館でもトイレが男女共用なのです。日本のように男女別に分かれる事なく共に列に並ぶという初めての体験でした。

まだまだ、いろんな面白い文化を、足腰の不具合が生じる前にたくさん見聞したいと思います。

(H記)

空豆の一寸したお話し

5月から6月にかけて旬を迎えるそら豆、漢字の由来は「蚕豆」や「天豆」いろいろあるが、一般的には実が未熟なうちに空に向かって育っていくから「空豆」という。熟すに従ってだんだん下に向くようになる。

また空豆のさやの中がふわふわの綿のようなものに包まれているのは、豆を保護するためである。この綿はセルロースからできており、本物の綿と同じような成分からできている。豆が小さいうちは柔らかいが、成長するにつれ堅くなっていく。さて茹でたての空豆で一杯やるか。(A記)

みんなのひろば

雨がよく降る6月をどうして「水無月」というのか、梅雨の真つ只中である。水無月は陰暦6月の異称で旧暦をもとにしているの、水無月は現代に置き換えれば7月に当たる。

7月になると梅雨が終って、強烈な太陽が照りつけはじめ、晴天が続いて水が涸れることもある。そこから水無月と呼ぶようになった。



6月がなぜ水無月なの

北欧のトイレ事情に驚き

情報は「受け取る」時代から「取りに行く」時代へ

4月16〜18日インテックス大阪で開催されたバリアフリー展を覗いてみると、平均寿命がどんどん長くなる中、健康寿命をどうしたら延ばすことができるか少し不安になってきました。

展示会ではオシャレな服やステッキ・外国製のきれいなデザインの新シルバークー、自分仕様に出来る車いす、聞こえをサポートするスピーカーなど見えて楽しくなる商品が満載です。また、自分が動きづらくなったときに、使いやすい箸や茶碗、入浴用の椅など出来なくなったことをサポートする商品も数多くあり、年齢を重ねるごとに、やりづらくなってくることを嘆くよりも、色々な情報を自分から取りに行つて、少しでも快適に過ごせる時間を延ばす努力が、健康寿命を延ばすことに繋がると思いました。

マインドフルネス(過去や未来に思いをよせるのではなく、今ここに注意を向けている状態。ストレスに強くなる方法)の講演会など、無料の講演会も多く、とても勉強になりました。ぜひ、皆さんも来年は行って頂きたいと思いました。

(YM記)

移送サービス運転ボランティアさん大募集

移送サービスとは おひとりで公共交通機関などを利用して外出することが困難な方の外出サポート

☆具体的に何をするの？

- ・専用車での送迎（事前予約制）
- ・利用者の乗降のお手伝い

☆どんな人が活動しているの？

50代〜70代の男性が多いですが、女性も活動されています。



少しでも関心を持たれた人は
お気軽に参加してくださいね！

☆昨年加入された
運転ボランティアさんの声☆



宮本さん

続けられるかなと心配。でも、サポートがあるから大丈夫！

事前説明会を開催します

日時：① 7月17日(水) 午後3時〜
② 7月22日(月) 午前10時〜

場所：ボランティアセンター

※どちらかに参加してください

申込み：社会福祉協議会

電話 895-1185

FAX 895-1192

外出サポーターさん也大募集

☆活動内容

◎移送サービス運行時の車への同乗

◎病院内や利用先での見守り同行など

◎年齢・資格・経験不問です。

◎問合せはボランティアセンターまで

▼▼▼▼ボランティアサロンのお知らせ▼▼▼▼

ボランティアに関して、知る、学ぶ、交流する会を、毎月ひらいています。

6月は、障がいのある方が仕事をする作業所での手伝いや、施設などの行事支援を行うボランティアグループ「ふれんず」の活動を見学して頂きます。

と き 6月14日(金)13時00分〜15時00分

ところ ボランティアセンター、作業所(ハートフルステーションいわふね)

内 容 13:00〜ボランティアセンタにてオリエンテーション

13:30〜作業所へ移動、見学

ハートフルステーションいわふね(私市2丁目14番14号)

対 象 市内と周辺在住、在勤、在学の方

参加費 無料

申し込み ボランティアセンター

